



融雪期の事故防止 ～ 雪下ろし 始める前に 自分と周囲の安全確保 ～

例年、この時期、寒暖の差が大きくなり、氷のようになった屋根の雪が落ちて下敷きになったり、屋根の雪下ろし作業中の転落や除雪機に巻き込まれて尊い命を落とすなどの事故が発生しています。

このような事故を防ぐために、次のことに注意しましょう。

◇屋根の雪は早めに下ろしましょう

道路に面した屋根などの冰雪を常に点検し、早めに下ろしましょう。また、建物を管理している方は、看板やロープなどで歩行者に注意を促すようにしましょう。

◇雪下ろしは転落防止用ロープ等を正しく装着しましょう

雪下ろしするときは、転落防止用のロープを正しく装着しましょう。また、見張りを置き歩行者や遊んでいる子どもに注意しましょう。

◇危険な軒下を歩かないようにしましょう

落水雪のおそれのある軒下などを歩かないようにしましょう。また、落水雪の危険がある場所では子どもを遊ばせないようにするとともに、遊んでいるのを見かけたときには声を掛けて注意しましょう。

◇除雪機による除雪は安全を確かめながら行いましょう

除雪作業中は服装と周囲の安全を確認し、作業の中断及びその場を離れるときはエンジンを停止するなど事故防止に注意しましょう。

冬道での交通事故防止 ～ 冬道は 危険がいっぱい スピードダウン! ～

◎ 冬道の交通事故防止ポイント

① 2つの「にくい」を意識しましょう。

■ 「止まりにくい」

・凍結・圧雪路面では、ブレーキを踏んでもすぐに停止することはできません。夏道よりも10キロ以上スピードを落とすとともに、3倍以上の車間距離を取り、交通事故を防止しましょう。

■ 「見えにくい」

・道路脇や交差点の雪山が視界をさえぎるケースでは、減速または一時停止を心がけ、安全確認をしながら徐々に交差点に進入するなど、雪山の陰からの歩行者の横断に十分注意しましょう。
・悪天候時は、吹きだまりや吹雪による視界不良の危険性がありますので、あらかじめ道路交通情報を確認し、不要な外出は控えましょう。

② 「急」のつく操作は危険です。

■ 冬道では、急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキなどの「急」のつく操作はスリップの原因となり大変危険です。スピードダウンや早めブレーキなど、慎重な運転を心がけましょう。

犯罪の発生状況

(平成27年1月末現在)

	空き巣	倉庫荒し	忍び込み	万引き	置引き	鉄板盗	自動車・ オートバイ盗	自転車盗	車上狙い	部品 ねらい	詐欺	軽油 灯油盗	その他	合計
平成27年														0
平成26年														0

交通事故の発生状況

(平成26年11月末現在)

町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
平成27年	0	平成27年	6
平成26年	3	平成26年	8

町民が町外で第1当事者と
なった人身事故件数

平成27年	0
平成26年	0

(平成27年1月末現在)